

常葉学園だより

常葉学園本部
常葉学園大学・大学院
常浜松大学・大学院
常葉学園短期大学
常葉学園高等学校・中学校
常葉学園橘高等学校・中学校
常葉学園菊川高等学校・中学校
常葉学園大学教育学部附属橘小学校
常葉短大附属どことは幼稚園
常葉短大附属たちはな幼稚園
常葉学園医療専門学校
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校

第195号



(常葉学園静岡リハビリテーション専門学校創立5周年記念式典 H22.10.30)



常葉学園
静岡リハビリテーション
専門学校 校長
紫藤 徹郎

創立5周年 を迎えて

この専門学校の目指す方向は、極めて明確です。『尊敬され、信頼される理学療法士の育成』です。まず医学の学力をしっかりと身に付けなければなりません。また、患者さんに優しく接して、威張らない人でなくしてはなりません。教員の態度や行動からももちろんのこと、四年間で二十二週間に及ぶ臨床実習などを通じて学んで貰わなくてはなりません。この専門学校の存在価値は、『地域と社会のニーズに応えられる理学療法士の育成』そのものにかかっていると考

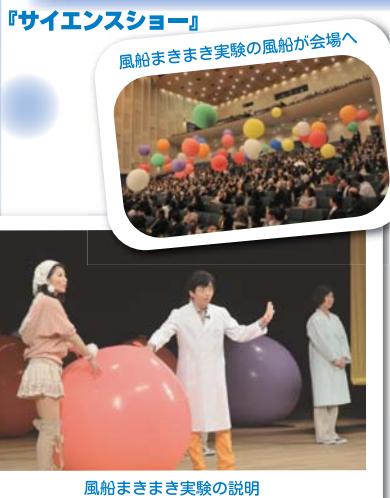
えていました。

さて、本校は学校法人常葉学園にとって、一番新しい、一番歴史の浅い、そして学生数も一番少ない、理学療法士のみを養成する単科の専門学校であります。今年三月には、第二期卒業生を含めて合計一一六名の理学療法士を社会に送り出すことができました。ちなみに、国家試験合格率は、九八・二%と、目標であった全員合格にあと一步でした。静岡県内を主に関東近辺でリハビリテーション医療に携わっております。残念ながら、学業途中で挫折を味わい、所期の目的を果たせなかつた学生も少ない数ではありません。この様な事態を如何に少なくするか、学校ならびに教職員にとって非常に重く受けとめている課題であります。専任教員一人一人が受け持つゼミ形式の小グループ指導など、更に強化していくつもりです。

この専門学校の目指す方向は、極めて明確です。『尊敬され、信頼される理学療法士の育成』です。まず医学の学力をしっかりと身に付けなければなりません。また、患者さんに優しく接して、威張らない人でなくしてはなりません。教員の態度や行動からももちろんのこと、四年間で二十二週間に及ぶ臨床実習などを通じて学んで貰わなくてはなりません。この専門学校の存在価値は、『地域と社会のニーズに応えられる理学療法士の育成』そのものにかかっていると考

常
葉
学
園
大
學

創立30周年記念式典・公演



風船まきまき実験の説明

常葉学園大学の沿革

- 昭和 55年 1月 常葉学園大学(教育学部定員100名)設置認可
- 昭和 55年 4月 常葉学園大学(教育学部初等教育課程)開学
常葉学園児童教育研究所開設
- 昭和 55年 6月 常葉学園大学開学式挙行
- 昭和 58年12月 常葉学園大学外国語学部
(英米語学科定員80名、スペイン語学科定員40名)設置認可
- 昭和 59年 4月 常葉学園大学外国語学部設置
- 昭和 59年11月 常葉学園大学創立5周年・外国語学部開設記念式典挙行
- 平成 元年10月 常葉学園大学創立10周年式典挙行
- 平成 3年 4月 常葉学園大学外国語学部臨時定員増
(英米語学科120名、スペイン語学科50名)となる
- 平成 6年 7月 常葉学園音楽教育センター発足
- 平成 8年 4月 常葉学園大学大学院国際言語文化研究科
(英米言語文化専攻定員15名、国際教育専攻定員15名)開設
- 平成 10年 4月 常葉学園大学教育学部・生涯学習学科(定員60名)設置
常葉学園大学外国語学部・英米語学科編入定員(60名)
- 平成 12年 4月 常葉学園大学教育学部・生涯学習学科編入定員(60名)
- 平成 12年 5月 常葉学園大学創立20周年式典挙行
- 平成 14年 4月 常葉学園大学造形学部・造形学科(定員80名)開設
- 平成 16年 4月 常葉学園大学教育学部・心理教育学科(定員60名)設置
常葉学園大学外国語学部・グローバルコミュニケーション学科(定員80名)設置
- 平成 19年 3月 大学基準協会加盟判定審査において適合認定を受け、正会員として承認
- 平成 20年 4月 常葉学園大学大学院(教職大学院)初等教育高度実践研究科(定員20名)開設

創立10月23日(土)14時より静岡市民文化会館において、常葉学園大学記念式典には本学学生はもちろんのこと、静岡大学学長・静岡県副知事・静岡県教育長・本学同窓会会长をはじめ、常葉学園理事長・教育関係者・本学退職教職員等、多くの来賓の方々に参列いただきました。角替弘志学長は「本学は「人を育てる教育者の教育」から始まりました。今日の世界においては「人こそが財(へたから)」です。教育学部はもとより、外国語学部・造形学部においてもその根幹は、社会に貢献できる「人財を育てる」ことにあります。これからも常葉学園大学は、皆様のお力をお借りしながら新たな発展を期し、「教育の常葉」として一層の発展を期し、次の30年に挑んでいくことを誓います。」と式辞を述べました。また、卒業生を代表して勝俣同窓会会长が30年への思いを語り、その後大学の沿革を映像にて教育学部国語専攻4年の渡辺佳菜さんのナレーションで紹介しました。記念公演では、米村でんじろう氏をお迎えして「トーク&サイエンスショー」を行いました。第一部は角替学長とのトークショードuringで、米村が「米村でんじろうサイエンスプロデューサー」として広く活躍されるまでのエピソードを語っていました。第二部では、声変わりハジマス・巨大空気砲・風船まきまき実験などのサイエンスショードuringで繰り広げられました。米村先生は、見て楽しむだけのサイエンスショードuringではなく、学生が実験の意味を理解できるよう、一つ一つエフェクツ程立実やさしく細かい解説をしてくださいました。実験の本質を学ぶ貴重な時間のン1実やさしさ

静岡
リハ専



紫藤校長式辞



藤枝MYFC齊藤氏 講演風景

平成22年10月30日(土)、常葉学園静岡リハビリテーション専門学校創立5周年記念式典がもくせい会館・富士ホールで開催されました。台風接近という、あいにくの天候でしたのが、学園関係者および創立以降本校を支えてくださった多くの関係者の皆様にご列席いただきました。記念講演では、藤枝MYFC齊藤氏を招き、スポーツ系理学療法についてのお話をいただきました。3年生からは

講演後活発な質問があり、学生にとつても有意な時間となりました。本校は、静岡市初の理学療法士養成施設として平成17年に開校しましたが、当初教員の殆どは教員経験がなく、学生と一緒に思考錯誤して一緒に学園を作り上げてきました。今では、卒業生116名の理学療法士が誕生し、活躍しています。こうして学校の歴史が刻まれていく過程で、学校関係者の方は勿論ですが、学園の臨床実習を支えていた、だいている全

国臨床実習指導者の先生方のご協力が大きくな助けとなっています。この紙面を借りて、関係していける方々へ感謝のお礼とさせていただきます。静岡市鷹匠の小さな学校ですが、未来に向けての大きな想いを持つています。静岡リハビリテーション専門学校は今後も学生たちの『本気の夢の実現』を応援し続ける学校です。たいと思っています。

常葉学園静岡リハビリテーション専門学校 創立5周年記念式典・講演



橋中

祝 全中軟式野球・サッカー全国制覇

中学野球部とサッカーチームがともに快挙を成し遂げてくれました。

全国中学校体育大会軟式野球は岡山県で決勝が行われ、三重県の海星中学を逆転の末2-1で下し、初の全国制覇を果たしました。

その2日後、山口県で行われたサッカーの決勝戦で、神奈川県の村岡中学を4-0で破り7年振り2度目の優勝を手にしました。

野球部、サッカーチームともに今後の活躍に目が放せません。



橋中野球部は初の全国優勝



全国制覇に喜ぶ橋中学校サッカーチーム監督と部員たち



浜松大

常葉学園だより

浜松大

(4)

静岡県を学生の力で盛り上げよう —第1回静岡県学生ボランティアの集い

10月30日、浜松大にて企画した「静岡県学生ボランティアの集い」が開催されました。テーマは「静岡県を学生の力で盛り上げよう」。浜松大、浜松医科大学のボランティアサークルを中心とした9団体が参加し、4つの分科会に分かれて意見交換を行いました。荻田奈央実行委員長（心身マネジメント学科4年）は「これを見たときに、同じ思いを持つた学生たちで静岡を盛り上げていきたい」と意気込みました。



ボランティアセンター オープニングセレモニー

10月30日「社会貢献・ボランティアセンター(HUVOC/ヒューバック)」のオープニングセレモニーが、浜松大学都田キャンパスで行われ、関係者が集い開設を祝いました。中村正義学長は「学生の自発的な意思や活動を組織的に支援し発展させていきたい」と話されました。HUVOCは今後、学生が企画するボランティアの支援、外部からのボランティア依頼の調整等を担い、地域や学生の社会貢献活動を支援していきます。



英語英文科卒業生トークショー

9月11日(土)、英語英文科では様々な分野で活躍している卒業生によるトークショーを開催しました。参加してくれたのは、静岡空港、ホテルアソシア静岡、株ソニーディジタルジャパン、桃花幼稚園などで活躍中の卒業生6名。「英語だけでなく、ライフデザイン、ホスピタリティなど社会で必要なスキルを身につけるような授業が豊富」「先生方がフレンドリー」など常葉短大で学んでよかったと思うことに加えて、「情報収集は特に重要!とにかく積極的に行動すること!」など、厳しい就職戦線をひかえた後輩たちへの助言も添えて下さいました。

常葉
短大

トークショーの風景

富士
常葉大

富士山大沢崩れ見学

9月9日に社会環境学部の学生約15名は、嶋野岳人准教授の引率のもと、富士山大沢崩れの観察に行きました。大沢崩れは富士山頂から真西に発達した最大幅500mに達する大規模な崖です。かつてお中道(中腹を一周する修験道)の最難所と言われましたが、現在は度重なる崩落で通行止めとなり、崩落を軽減する工事が行われています。今回は、工事を担当する国土交通省富士砂防事務所の方々の案内により、お中道沿いに北側の御庭から大沢崩れまで歩きました。途中、深い森や火山噴出物の露出する沢などを見ながら、約1時間半で大沢崩れに到着。学生たちは目の前にひらけた大沢崩れの大さに感動していました。

塩澤先生の指導により、演奏技術の向上には目を見張るものがある吹奏楽部ですが、これらは、さらに多くの部員を得て年顧問を務めた桜井仁先生作曲によるマーチも、初の演奏会に花を添えました。第2部では、長部員2人が司会進行を務め、ボップステージを盛り上げました。塩澤先生の指導により、演奏技術の向上には目を見張るものがある吹奏楽部ですが、これらは、さらに多くの部員を得て年顧問を務めた桜井仁先生作曲によるマーチも、初の演奏会に花を添えました。第2部では、長部員2人が司会進行を務め、ボップステージを盛り上げました。

10月5日、本校の女子生徒2名が静岡中央警察署に「女性被害0」という学生の性犯罪予防の研修に参加しました。警察の方から「年間に性犯罪事件で通報される件数は1桁くらいだが、実際はその5倍もの被害が予想される」というお話を聞き、改めて被害の怖さを実感したようでした。被害にあわれた人たちには、夜道を一人で帰ったり、通りの少ない道を通りで夜道を歩くことが多いので、自分たちへの助言も添えて下さいました。

(文責 橋高校報道同好会)

橋
中・高

女性被害0と110番センターの見学

第1回吹奏楽部定期演奏会

橋
中・高

フルート奏者
古川さんをお招きして

6年生は、10月3日間、6カ年の英語学習の集大成として、福島県河にあるブリティッシュ・ヒルズで英語づけの生活をしました。各班に1人、英語を母国語とする先生が付き、子ども達は先生から多くのことを学びました。本校児童は日頃から外国人に接する機会が多く、気後れする姿はほとんど見られませんでした。

ブリティッシュ・ヒルズでは、英語の学習成果を試すばかりではなく、異文化的体験をたくさんすることができます。また、班ごとに外国人の先生と一緒に食事をしながら本格的な食事マナーも学びました。

近世イギリスの建築様式で立られた大豪邸(マナーハウス)や民家が点在する、まさに「パシポートのいらない英国」の感が漂つていました。

行って来ました! British Hills- 英語研修



橋小



第1回 模擬試験

静岡
リハ専

4年生を対象に、11月8日(月)に理学療法士国家試験まで10回の模擬試験を行います。来年2月に、国家試験の模擬試験を行われます。今回の結果を踏まえ、苦手分野を克服し、全員合格に向けて全力で頑張ってほしいと思います。



GSスピーチコンテスト
常葉学園高校グローバルスタディーズコースの3学年が集まりスピーチコンテストを行いました。早いクラスは夏休み前からおよそ半年かけて練り上げました。各学年がテーマに沿つて発表していく、特に3年生は自由な題材でのプレゼンは内容の濃い、レベルなものとなりました。司会から発表まで、すべてを英語で行い、仮装やゲームを行い、観客の授業・家庭学習の成果を存分に発揮してくれました。その後はハロウィンパーティを行ってきました。皆で労をねぎらいました。

セルゲイ・クズネツォフ氏

第18回モスクワセミナー開催

今年度も、モスクワ国立音楽院に本学教授によるセミナーが2月16日～24日に開催されます。ピアノリサイタルは2月18日(金)、静岡音楽館AOIを皮切りに、A.セメツキー教授とN.トルリ教授による公開レッスンは、2月20日(日)本学232教室、そして最後に、本学とモスクワ国立音楽院の学生による演奏会が、2月24日(木)静岡音楽館AOIで開催します。リサイタルは、第6回浜松国際ピアノコンクールで第2位に入賞したS.クズネツォフ先生が、定評ある構成力と美しい音色を、皆さん、どうぞお聴き下さい。問合せは本学セミナー事務局まで。



9月25日～10月5日千葉で開催の固体、高3の浅田侑嗣くんがやり投の静岡県代表として出場し、2位入賞しました。今回は調子がよく、全ての投で62mを超えることが出来ました。記録は66m13cmで、ベスト記録には2m近く及びませんでしたが、ターハイ3位のリベンジはできただと思います。「まだ走などの技術面と、試走など改善合点が多くあるので、これからも更に頑張っていきたいと思います」と浅田くんは力強く語りました。

ガンダム
おおきいね!!ここは
幼

なわとび上手になつたでしょ!?

学生サークル『食ポート』が骨強化クッキーを考案

健康栄養学科の学生でつくるサークル「食ポート」が、健康新規復学科の依頼を受け、骨の形成に必要なカルシウムやビタミンDを多く含んだクッキー「カルシウム補助食品」を加えて栄養価を増加。普通にクッキーを作る時よりも生地をしつかりとこね、骨をイメージさせる固い食感を実現しました。

**創立30周年記念・外国語学部**

▲スペインフォーラムの様子

▲エンリケ・コントレーラス先生の講演の様子

▲パックン・マッキンの講演

創立30周年記念・外国語学部

創立30周年にあたり外国語学部では2つの記念事業を行いました。10月2日(土)にスペイン・フォークム「天才画家ゴヤとその時代」を元常葉大教授エンリケ・コントラーラス先生を迎えたアイセルにて開催しました。ゴヤの生きた時代背景を押さえながら版画を中心とした展示を行いました。ゴヤの版画を中で鑑賞し、戦争とは何かを考えました。会場には一般の方や卒業生を中心とした200名を越える聴衆が集まり、ゴヤとその作品への認識を新たにしていました。フォトラム後の同窓会では約100名の卒業生が先生を聞き再会を喜びました。

10月14日(木)にはパックンマックン「笑って覚える英語」と題してテレビでおなじみの二人がたちはなホールに登場。英語を使つたコントに会場は笑いで包まれました。LとRの発音のコツや和製英語の落とし穴など盛りだくさんの内容で、予定時間を大幅に超えました。

卒業生が先生を開き再会を喜びました。LとRの発音のコツや和製英語の落とし穴など盛りだくさんの内容で、予定時間を大幅に超えていました。落とし穴や木の実を使つて画面紙に作品を仕上げる姿は微笑ましいものでした。

中等部人間関係プログラム**どんな作品ができるかな?!**

以前、キャンプの時に作った縦割りの班を利用して、ネイチャーゲームを実施しました。社会の様々な変化が心地よい環境に影響を及ぼしているのが現状です。その中で人とのコミュニケーションを取り、自己を確立していくライフスキルを高める一環として行いました。落とし穴や木の実を使つて画面紙に作品を仕上げる姿は微笑ましいものでした。

2009年6月4日、

富士山静岡空港が開港しました。この空港で働いているのが、卒業生の田代佑貴子さん。静岡空港の滑走路やターミナルの管理、空港内で売店や免税店の運営をしている会社で、総務の仕事をしています。「開港準備の段階では、実際にお客様に使っていただかなければ見えてこないこともあります。開港直後、お客様の声を聞くことができたのは嬉しかったです」と開港当初のことを田代さんは話されました。

がんばる卒業生

田代佑貴子さん
(旧姓 藤田)
H16.3月卒業



H16.3月卒業

また、「静岡の人は空港に慣れていないと感じます」とも。「電車やバス同様、空港で切符さえ買えば簡単に飛行機に乗れる」「たとえパスポートがなくても国際線に乗ることが出来る」そんなふうに思っていた利用者も少なくなかったそうです。「静岡の人々の生活で空港がより身近な存在となってくれれば・・・。」と田代さんは願っています。

在学中は吹奏楽部に所属していた田代さん。「会社ではチームワークが大切だと常に感じます。部活を通して学んだ、協力することや相手のことを考えるということは社会人にならっても役立っているように感じます」と、おっしゃいました。

最後にこれから社会へ果立っていく後輩達に「私は在学中から目標を持っていました。だから、何をするべきかが明確であり、それに向かって行動することが出来ました。皆さんも何事にも目標を持って取り組んでいて下さい」とメッセージを下さいました。

